常磐毎日新聞

日刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 福島縣石城郡平町長橋町三五 坂本忠治
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二一〇番

三月十七日夕刊

天氣豫報

今晩は北西の風雨模樣後晴
明日は北西の風晴一時雲風强かるべし

擴げた足が一丈餘
巨體・海の怪物
一物凄い大カニを
漁夫が總掛りで引揚ぐ
丸市魚問屋が第三校へ寄附

江名町大字中之作漁船北洋丸が同沖合で十五日午前十時頃漁撈中たぐり寄せた漁網に巨大な異體の怪物がうごめいてゐるのに吃驚恐々漁夫が總掛りで引上げて見るとなんと足を擴げて三米餘、重量六貫匁に餘る『大カニ』君最初のうちはカニ君物凄い兩の鋏を揮つて威勢好かつたが早速濱に揚げて之の珍客を歡迎した甲斐もなく間もなく死んで終つた

尙平町四丁目鮮魚問屋丸市屋主人志賀盛榮氏は右の大カニを早速買受けて町內各小學校兒童に敎材として參觀させた上第三小學校に寄贈した

因に右のカニは三浦三崎近海に棲息する高足カニと稱するもので同地方でも普通は一米位のもので斯かる巨大なヤツは稀で全く珍らしく甲羅に『イソギンチヤク』や『エボシ貝』が附着年齡も七、八十年と見られてゐる

古川改修工事が平町地內に進む
完全に洪水禍一掃
南裡發展期待さる

內郷平飯野の一町二ケ村を貫流する古川の改修工事は既報の如く十一年度から四ケ年繼續事業で施行され目下上流の內郷村新宿地內を施工中で十二年度には平町分が改修されこの工事完成の曉は從來降雨毎の濁水氾濫から蒙むる洪水禍は完全に一掃されるので完成を期待され平町以南の第四校、並に平商校新築と共に南裡田甫は大發展するものと見られてゐる

先着順に御神符
養蠶組合の懇談會

縣養蠶業組合聯合會主催の共濟備荒施設督勵懇談會は來る二十二日午前十時から平町平陽女學校で縣蠶糸課技術官並に縣聯合會より係員出席して開催、郡下各養蠶實行組合關係者が參加する、尙當日の出席者には先着順に依り百名に限り中食及び蠶祖神社の御神符を贈與される筈

當分續く鰯景氣
濱に擧る歡聲！

昨年の水揚高二百萬を突破し大いに氣を吐いた小名濱港は既報の如く今年は更に三百萬突破を目指すべく水產縣福島を代表して東北屈指の町營大魚市場を始め幾多施設計劃を樹て着々準備に取りかゝつてゐるが全水揚高の四割乃至五割を占めてゐる鰯漁は今春來豐漁に次ぐ豐漁で早くも三月足らずして四十萬圓の水揚を示し濱には時ならぬ歡聲が擧つてゐる、目下のところ小數の底曳漁業を除いては殆んど鰯漁で海濱一帶は煮干粕干等が砂地を埋めてゐる、このイワシ景氣は當分續く模樣で昨今の小名濱は非常な活況を見せてゐる

副業主任官一行
郡下の產業視察

今十七日から三日間若松市公會堂に開催の本縣主催東北六縣北海道副業主任官會議に出席した關係各方面專門家約五十名は來る二十日東北一を誇る小名濱町の石城水產加工販利聯魚糧工場並に四倉町の石城販利組合菜種搾油工場を視察することゝなつた、この一行の顏振れは

出石本縣總務部長を始め間瀨經濟更生課長、川邊副業主任、其他東北、北海道各縣からは村山主事（靑森）猫塚主事（岩手）野崎技師（宮城）和氣技師（秋田）二宮主事（山形）北村主事（北海道）また農林省須田副業課長、岡本同販賣改善課長、山口積雪地方農林經濟調査所長石井毛皮獸養殖所長、河田東京營林局造林課長、內田山林局技師、南產組中金仙臺支所長三宅全國農村工業品販賣所主事等で前記各地元では目下大童で歡待準備に取りかゝつてゐる

優良者に部會賞
目下詮衡中

石城敎育部會は今年も例年通り郡下各小學校及び靑年學校の卒校生の內で成績優秀、品行方正な者に賞品を授與する事になり目下調査中であるが小學校は各クラス一名宛、靑年學校は男女共本科卒業生各一名の豫定であると

澤渡勞力奉仕

澤渡村消防組員八百四十二名は同村役場廳舍改築並に郵便取扱所、ポンプ小屋等の新築に勞力奉仕をした功に依り柴田平署長から知事宛表彰方申請した

淸酒品評會開く
郡下銘釀百六十點
廿五日に審査發表

石城酒造組合主催第十八回淸酒品評會は來る二十三、四、五日の三日間平稅務署樓上に開催されるが郡下の銘釀出品約百六十點の見込みで二十四日審査長縣技師千葉佐仲氏の手により嚴重審査の結果二十五日午後二時からこれが授與式を擧行する

木炭業總會

諸三郡木炭同業組合では二十三日午前十時から平町商休事務所に總會を開き、明年度豫算を決定

信榮幼稚園
卒業園兒名

平町材木町信榮幼稚園の第十五回卒業式は來る二十三日午前九時半から擧行されるが卒業園兒名は左の如くである

大嶺陽子　柏原フジ子　神谷昭夫　吉田誠吉　澤銑　堀江將二郎　飯沼省一　池內眞佐男　石橋渡　安齊博　佐久間正之　丸山貞雄　園部昭雄　千葉忠彥　菊池俊幸　加藤公男　齊藤敏子　松本誠次　安齊保子　飯島榮子　長谷川英子　石坂敦子　高木晉一

磐女校の送別會
朗かさの中に
一脈の淋しさ

磐女卒業生の送別會は既報の如く今十七日午前十時から同校講堂に催され三年大和田智惠子さんの開辭に次いで正木千鶴子さんの送別の辭、卒業生總代熊トリ子さんの謝辭

正木校長の訓話あつて茶話に移り左記の餘興に移り賑やかに演ぜられたが朗らかさの中にも一脈惜別の淋しさが流れて居た

獨唱「シューベルトの子守唄」一年鈴木あつみ、伴奏志賀綾子、獨唱「別れ」二年馬目喜久與、伴奏吉田禎子、三部合唱「ハワイの海」三年丹伊勢子、柴田ちゑ子、水野サト、ピアノ獨奏「銀波」三年大和田智惠子「獨唱ブラームスの子守唄」二年小野口敏子、伴奏根本ツネ子、獨唱「のばら」三年桐谷つね、伴奏大和田智惠子、獨唱「おゝわが日影」四年大塚つね

敎育部會

石城敎育部會は今十七日午前十時から平町役場に評議員會を開き前年度決算及び今年度豫算編成の件に就いて種々打合せた

凄い狂風に
突如警報來る
極力漁船を警戒中
仲々やまぬ模樣

平地方は明日から彼岸入りの今十七日朝來强風吹き捲くつて砂塵渦卷いたが午前十時半福島測候所から平署宛『現在風速十六米相當强くなる模樣なり今日中は止まざる徵候のため濱通り地方の各濱漁船は隨分と注意されたし』と暴風警戒の通報あり同署では管內濱方面の各駐在に示達漁船を警戒中尙平町では吹き捲くる强風に萬一を憂慮、町內各靑年、火防組と協力して警戒不氣味な有樣を呈して居る

片倉從業員
第三種功績章

平町片倉製糸磐城工場從業員半澤賢助（四一）氏は來る四月十六日埼玉縣熊谷市東小學校に於て開かれる第三十二回大日本蠶糸會總會に全國に於ける同業中の優良從業員として表彰され第三種功績章を授與される

公園の……
あづまや
櫻花季迄に改築

櫻花の四月に備へて昨報の如く觀櫻客歡迎陣を展開することになつた平町では更に松ヶ岡の第一公園のと尼子亭前の四阿を改築することになり近く着工するため今十七日町內業者に見積書を提出させた

磐城高女卒業生（五十音順）

★優等 ◉四ケ年級長勤續 ◎校友會功勞 △四ケ年皆勤 □四ケ年精勤 〇一ケ年皆勤

◎△會田キヨ　〇會田初子　〇◎靑田敏子　〇靑山美登里　◎赤塚キヨ子　◎★阿部トシ子　◎阿部弘子　◎△阿部ミチ　阿部ヤス子　△阿部ユリ子　□荒玉枝　〇荒川和子　〇◎荒川近子　◎★荒川ナハ子　△有坂滿子　◎△◉★飯島しげ　◎△飯塚テフ　猪狩サヨ　〇◉石井喜久　伊勢美律子　市井サダ子　岩本フミ子　上村ゑみ子　〇★氏田ハツ　△海川はるよ　植野シツエ　〇江口初江　江尻シゲ子　〇遠藤糸子　遠藤スヱ　◎大泉美智子　□大河原ヒロヨ　大賀幸子　大越ハナ　〇太田千代　〇大塚サア　〇★大塚ツネ　〇大原ミチ　大平カツヨ　〇大平保子　〇岡田弘　〇小川信子　奥津定子　小野イト　◎△小野ヒデ　〇笠原とき子　〇柏原久子　片野セツ　〇金澤幸江　〇金成ツルヨ　金子　△釜田ヨシ子　〇菅野久子　〇蒲塚方子　〇◎菊地テツ子　◎△木田カクヨ　〇木田フサ子　木田芳江　草野欣子　△草野貞子　□草野マサ　草野ヨシエ　國井滿子　◎國安チヨ　〇◉★久保木ヨネ　〇◎◉☆熊トリ子　〇熊谷敬子　小堺彌惠子　小林俊子　〇小松シゲ　△今トキ　□近藤チエ　坂本キク　〇櫻庭美津　◎鷺マス　佐々木驍子　佐々木ユキ　齋藤和子　齋藤幸子　★佐藤縈子　△佐藤澄子　佐藤セツ　佐藤富貴子　佐藤もゝ子　△佐藤行子　三宮梧　伊篠崎千代子　杉田君枝　〇◎鈴木キヨ　鈴木キミ　〇◎鈴木キヨ　鈴木幸　鈴木チエ　△鈴木ハツ江　〇鈴木初枝　鈴木ヨシエ　〇住谷美子　〇淸田いそ　〇瀨谷良子　□◎★芹澤節子　〇大樂タミ　高木コト子　△高木良　□高橋コウ　◎△高橋知　〇高橋トシ　◎△高橋敏子　高原トク子　△田口ジン　田口トミ　□武田節子　△武田初枝　田子タネ　□◎⊕☆立花キミ　◎橘ソミ　田中リク　〇◎田村まり子　◎長ハル子　□土屋シヅ　□◎土屋千代子　◎△鶴山廣子　〇德永智子　〇戶田和子　〇鳥羽美代子　〇鳥海和　△鳥居靜枝　〇◎堂山サタ　中田キヨ　〇中田トミ　〇中田ヨシ子　〇中榮マスヨ　〇中村艷子　□中山セイ　◎★永井睦子　〇永崎京枝子　〇◎新妻セイ　△新妻文子　新妻ヤス子　〇西山恭子　沼田治代　◎根本年子　△根本ハルミ　△野木ヨシ子　〇野口信子　〇野崎ヨシ　★野々尻貞枝　野村祢美子　〇箱崎ヒデ　〇◎★長谷川好江　◎△花澤ツヤ子　◎林セツ子　〇◎☆比佐道子　◎蛭田聰子　福尾節子　〇福羽靜江　福來桃子　船山アイ子　★古市カヲル　〇本間トヨ　前松安子　馬能多美子　松崎文子　□松本慶子　松本新子　△松井眞澄　□馬目富代　丸山八重子　〇水品生子　〇◎水野照子　皆川まさ　〇武藤ヤス　□◎村井廣子　□馬上好子　本橋敬子　森久子　△山崎八百子　〇山田榮子　山本愛子　矢吹タキ子　◎吉田久美　吉田美枝　吉田親子　△米澤フク　〇若松美惠　渡部燕　渡邊總譽　渡邊ツネ　渡邊トク子　〇渡邊通

目白番附
大會開く

每月めじろの啼調會を開き愛鳥家を刺戟する處あつた平春玲會では來る廿一日午前十時から田町白土謠曲稽古所で番附大會を開き名鳥の格付をすると

木炭品評
郡內二ケ所

諸三郡木炭同業組合主催木炭品評會は左記二ケ所に開く

△二十四日永戶村上永井小學校△二十五日－二十七日川部小學校

泥醉漢暴行
平署で檢擧

湯本町三函前科一犯長尾七太郎（四三）は十五日夜泥醉して同町向田料亭石川屋方に登樓、飲酒の揚句散々暴行を働き平署で檢擧した

變態男追訴

既報 女物專門に搔拂つた變態男宮城縣生れ目下住居不定無職三ツ橋丑藏（三六）は共後平檢事局で石合檢事係りの下に取調べ中の處女を騙して借受けてたメリンスの肌ジバンを他に賣却した事等も判明、今十七日竊盜、橫領罪で起訴され公判は近く平區で野本判事係りの下に開廷される

煙草店の
店舖改善

水專局平出張所管內煙草小賣人の店舖改善指定更新は來る六月末日を期し實施されるので同出張所では目下これが改善策を協議中

惡虫を捕獲

蠶業取締所平支所では陽春と共に蠅の發生時季となつたゝめ管內各養蠶實行組合に對し蠶蛆驅除豫防のためこれが捕穫器の取付方を奬勵した

旅役者公判

既報昨日住居侵入罪で起訴された「お定劇」の裁判長、北海道濟益郡濟益村生れ旅役者大美爵光事保木光雄（二四）に係る公判は來る二十日午前九時から平區で田中判事係り石合檢事立會の下に開廷される

滿洲の除隊

平町正月町荻野滿三君は滿洲獨立守備隊を除隊となり今十七日午後六時十二分平驛着で歸平

理髮の會議

諸三郡理髮組合の支部長會議は今十七日午前十時から植田署樓上に開き役員改選の外十二年度事業計畫につき協議した

嬰兒窒息死

植田町字東田農赤津靜江（三三）は去る十五日夜生後一ケ月の長女トミ子と添寢中乳呑兒は夜具のため窒息死亡した

四倉自動車協會役員

四倉自動車協會四倉支部の新役員は左の如く決定した

△會長蒲葉四倉署長△副支部長豐田美孝△幹事早川祐次、上澤幸吉、酒井藤松、酒井忠太

平町人事

回出生
△鎌田町二二阿部三省氏三女美惠子さん

回死亡
△彌宜町二五稚貝なかさん（三六）

平職業紹介所報告

回求人之部
△農夫 年六、七十圓
△農夫 五十才迄月給八圓
△雜夫 十七－三十才迄給十二圓 二人
△粕〆人夫 十七－二十四才 給十二圓 五名

回求職之部
△看護婦 三十一才 產婆看護學校卒
△女中 三十三才 高一修
△女中 二十二才 高卒
△看護婦 二十四才 高女卒

JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇 お話 物の始り「貨幣」柴田武
▼後六、二五 俚諺講座「關東信越地方」町田嘉章
▼後七、三〇 講演「秩父宮殿下御渡歐に際して」佐藤外相 吹奏樂 陸軍戶山學校軍樂隊
▼後八、〇〇 淸元「賑民壽萬歲」淸元延小千他
▼後八、二〇、箏曲 上野眞佐喜社中

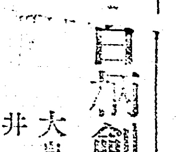
明日の部

▼後八、〇〇 哥澤 哥澤芝加陸太夫
▼後八、五〇 連續講談「出世くらべ」小金井蘆洲
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告
▼前七、〇一 基礎フランス語講座 丸山順太郎
▼前七、三〇 朝の修養「鐵眼禪師の假字法語」赤松普明
▼前一〇、三〇 母の講座「家庭に於ける音樂的環境から來る各種の影響」本野精吾
▼前一〇、一〇 彼岸會法要 和歌山縣紀三井山護國院本堂中繼
▼後〇、〇五 御詠歌と和讃 加藤正秀 樋口とよ子
▼後〇、三〇 國民歌謠 大阪放送合唱團
▼後二、〇〇 母の時間「食道癌や食道異物の診斷法」久保猪之吉
▼後二、二五 秩父宮殿下橫濱御出帆御模樣・橫濱稅關臨港驛構內及び岸壁上屋中繼
▼後六、〇〇 ピアノとヴァイオリン獨奏 黑田睦子 辻久子
▼後六、二五 實演付趣味講演「土俗信仰おくら遊びの話」小井川潤次郎
▼後七、三〇 講演「東北興業株式會社の事業の現況と將來」金森太郎
▼後八、〇〇 ラジオ社會面「良心を拾つた男」東山千榮子他
▼後八、二〇 國民歌謠「オペラ」「ふるさとの呼ぶ聲」霧島昇 二葉あき子他
▼後八、五五 義太夫「熊谷陣屋」竹本鏡太夫

春！春！
いよいよカメラのシーズン來る
コレは良い趣味!!カメラ趣味!!
御入學 御卒業 祝 記念に！
良く寫る東郷製
メイコーカメラの お求めを！
激しい試驗勉强につかれた身心をカメラで休養致しませう
少年練習用 一組 三十錢位ヨリ
メイコーカメラ 一個 五圓ヨリ三十圓迄
平驛前 いづみや玩具店 カメラ部

一齒科一般 保存科 補綴科 繼續架工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一口腔外科
一レントゲン科
中野齒科醫院
平町田町（松月堂向ヒ） 電話 五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野悳次
日本齒科醫學士 西川誠

內科 外科 一般
金成醫院
金成忠義
平町鎌田町電話三五八番



（禁上映・上演劇）

日月劍風連

大島多慶夫作
井川洗涯畫
（挿畫）布施長春
村瀨春映

一百三 [illegible]（十五）

「いや。彼奴は[illegible]を[illegible]つた男ぢや。いや。大きく申すと、[illegible]を[illegible]つた[illegible]むべき奴ではないか」

「ではあるが……それは彼の[illegible]心ではあるまい。[illegible]の[illegible]に[illegible]つて居ると見て居る。また彼の[illegible]が女と[illegible]のために……それも[illegible]つて來るのう」

と、十郞左衞門は[illegible]を過ごした[illegible]と[illegible]は、その人間の心まで腐らせるものだと[illegible]ながら我身たちの[illegible]ひが[illegible]かしい[illegible]に感じた。

「何。[illegible]はん。[illegible]から[illegible]に[illegible]やつつけやうぞ」

と、[illegible]は[illegible]に[illegible]と云つた。

十郞左衞門はヂロリと[illegible]く[illegible]部三十郞を[illegible]んだが、[illegible]に、松平五左衞門が[illegible]られるかといふ[illegible]が[illegible]の尖に現れてゐた。時。だしぬけであつた。十郞左衞門の[illegible]に侍つてゐたお[illegible]が

「あれつ」

と、[illegible]に[illegible]した。

十郞左衞門は[illegible]してお[illegible]を[illegible]いた。

「いかゞいたしたのぢや」

「[illegible]が……そら。[illegible]に」

と、お[illegible]は[illegible]まで[illegible]を[illegible]してゐた[illegible]の[illegible]を指した。十郞左衞門はグッと[illegible]く[illegible]をつとなるほど、そこには[illegible]い[illegible]をベロ[illegible]出して、[illegible]をもたげた[illegible]が[illegible]の、に[illegible]を吐いてゐた。

「うむ」

と、十郞左衞門はつッと立つた。

× × ×

伊豆守[illegible]から[illegible]の[illegible]宗[illegible]であると[illegible]をつけられた[illegible]の[illegible]は、[illegible]して彼の[illegible]衞と[illegible]へた[illegible]であらうか。しかし[illegible]衞老人が[illegible]であるとないとに係はらず、また[illegible]であるかないかに係はらずに、その一味は[illegible]につく[illegible]のやうに、四方八方から[illegible]へ集まつて來てゐるそして、いろいろと[illegible]を[illegible]へ生[illegible]を[illegible]へて[illegible]を[illegible]げる日を待こがれてゐるのであつた。

彼等の[illegible]を[illegible]する[illegible]はじつに巧なもので、ちやうど[illegible]組織になつてゐるばかりか、[illegible]もを[illegible]はすべく[illegible]からも[illegible]をつけてゐる。

「伊耶[illegible]」何といふ[illegible]な[illegible]であらう。これは[illegible]に[illegible]と[illegible]へてゐる[illegible]老人の[illegible]した[illegible]の一つに[illegible]ひない。この[illegible]な[illegible]を[illegible]せる[illegible]は、[illegible]に[illegible]に[illegible]びて[illegible]と[illegible]は[illegible]な[illegible]になつてゐた。

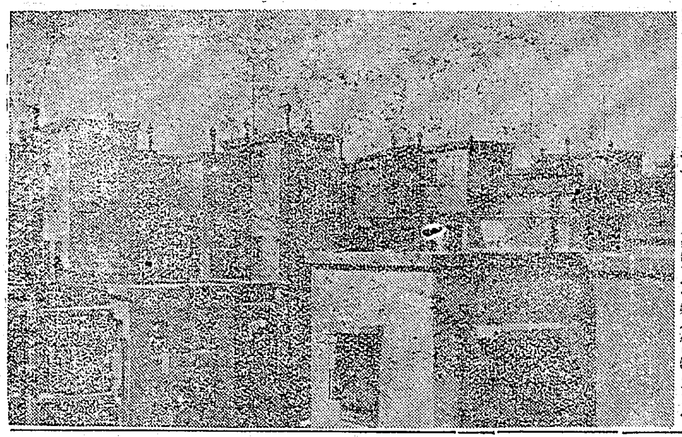
この[illegible]の[illegible]しい[illegible]それは伊豆守[illegible]の[illegible]でもさすがにぬけなかつた。

[illegible]の[illegible]から[illegible]にあたつてゐる[illegible]い[illegible]の一[illegible]。そこは入江になつてゐて、[illegible]と[illegible]に[illegible]まれた[illegible]い水[illegible]がじてゐる。そして、[illegible]の[illegible]からは[illegible]がつてゐる[illegible]木で[illegible]えなやうに[illegible]されてゐる。また[illegible]の[illegible]からも[illegible]い[illegible]れ小[illegible]になつてゐた。[illegible]い水[illegible]を[illegible]らなければ[illegible]けないと云つても住んでゐる[illegible]は[illegible]くもうすつかり伊耶[illegible]の[illegible]にされてしまつてゐた。

近代流行のアパートにこの危險

日本家屋と同じに思ふな

醫學博士　大西清治



洋風建築のアパートに住む人は年々その數をましてゐますが、これ等の人々の中で永年住みなれた日本家屋と洋風建築との根本的な相違をしつて、日常の衛生に心をくばつてゐる人は數へる程しかない様です、アパート生活をいとなむためには、充分衛生知識を得て習慣づけねばならぬのです

空氣の汚れ比較

洋風建築の床、天井、壁はコンクリートであつて部屋をつゝむ構造はすべて非常に密です、かうした構造の自然換氣が日本家屋にくらべてどの位悪いかをしらべてみますと、約三倍以上にあたります、つまり日本座敷なら三時間で或程度空氣がよごれるのがアパートでは一時間でそれと同じ状態に達するわけです、ところが長年日本家屋に住みなれてゐるので、自分たちが現在住んでゐる部屋の換氣が全くそれとちがふことを多くの人はわすれてゐます

火鉢とガス中毒

火鉢の炭からは有毒な一酸化炭素が發生する事は御承知でせうが子供、老人などがこの炭化中毒のため昏睡におちいつた、多くの例は全部アパートであると云つてもいいのです、火鉢ばかりでなく、窓をしめきつた睡眠中や、同じ室内に放置された勝手元のガスのため空氣が汚れるのは勿論です、これをふせぐには、窓をあけるより仕方がないのですが、冬など急につめたい外氣を入れることはたへられません、そこで平素から居住する上において種々の研究をしておく必要があります

アパートと感冒

洋室は換氣が充分でないため、室内を暖房であたゝめると天井に近い部分程温度高く、床面にちかづくにしたがつて温度低い結果が生れます、頭寒足熱を昔から日本では健康法の一つとしてゐますが、アパートでは室の上部と下部とでは温度の差がはげしく、頭熱足寒の形になるのです、アパート住ひの乳幼児、婦人、老人などが感冒にかゝることが非常に多いのはこのためなのです、暖房と換氣を調節し、温度の差をなくすることを知るべきです

一階と上層の缺陥

又アパートは風邪の蔓延その他の關係から、二、三階が値が高く、一階と上層は安いと云はれてゐますが、衛生的に考へても一階は濕氣が多く、上層は反對に乾燥しやすい缺點があるのです、從つて一階の方は部屋を絶えず乾燥させる事、上層の方は湯氣等で濕氣を得るやうにすべきです、寒さをふせぐにはあつく重い冬のカーテンをたれる事が第一で、又出來るならば窓の下方だけでもカーテンを二重にするやう考へる事です

○家庭メモ

洗濯用醋酸水の分量　洗濯後仕上げに使用するさく酸水は水一升に對してさく酸四、五滴を入れよくかき混ぜて用ひます、さく酸がない時は食用酢でも宜しく、分量はなめて見て舌先に一寸酸い感じをあたへる程度がよい

菜をみどり色にゆでるには水を火にかけて氣あわが立ち始めたところ一つまみの鹽を投じますと音を立てます、これを茶道の方では松とうと云つてをります、このときがゆで物に一番よい時です、そしてゆであげたらすぐ冷水に投じて水洗ひします　×

◎忘れてはならぬ　お母さんの心得◎

特に奨める二ケ條

乳兒の寒さに對する抵抗はせん弱ですぐカゼをひきそれから大事におよぶことが[illegible]すき間からよくかぜがはいります、ですから低い[illegible]の上に床をのべるのをよしとしてます。又ふすまや障子のすき間からはいるかぜをふせぐためびやうぶを立てるのも結構な事です、そして室内の温度は大體六十五六度前後から七十度位が適當です、湯たんぽや懐爐は案外にあつくなる事があり、火傷などすることがありますから注意しなければなりません

電氣　御注意二つ

電氣スタンドやアイロンのコードが古くなつて表面がやぶれてゐると大人は大した事はないが幼兒がぬれ手などでふれると危險

電球をねぢつて點滅すると壽命が長いとは昔の話、電球の壽命より電流の節約が大切、一個六、七錢の品は檢査不合格品が多く、標準品の四割以上電氣をくふ

◎◎新妻参考

新妻の健康に夫は氣をつけよ

少しでも變だつたらすぐ醫者へ

家庭圓滿は健康から

結　婚して新生活にはいると、精神的にも肉體的にもいろいろな變調がおこつて來ます、たとへば月經なども結婚前不順であつた方が、結婚後順調になつたり、或は結婚前正調であつたのに、結婚後變調を來す場合もあります、この場合は多く結婚生活の放縦による不節制が原因するものですから月經時はもちろん、その前後も特に注意する必要があります、なほ從來正調だつた月經が一、二ケ月以上延滞した場合はまづ妊娠と見るべきですが、妊娠のためでない無月經はすべて婦人病のはじまりですから診察を要します

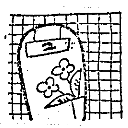
月　經時と同時にあらはれて來る分泌物は白帶下です、白帶下は普通月經前後をともなひ若干増えるものですが、中には何の苦痛もなくそのまゝ經過する場合があります、もし白帶下に變調のあつた時はたとひ痛みをともなはなくても、婦人病の徴候として見のがせないものです、一體健康な處女の白帶下は白色の状ですが、結婚後は時々に水分が多くなり透明にちかく量も幾分多くなります、所が病的のコシケは更に量をまし、中にはみどり色、褐色、血のまじる場合もあり、悪臭を發することもあります、ことに淋疾性の病氣がある時は苦痛はなく、黄色いコシケが澤山下ります、結婚後尿意がちかくなつて

然　も尿の殘留感があり、コシケが多く、頭痛發熱を見る場合は必ず男子の病氣が感染したものとみて差支ない、從つてかうした徴候を見た場合はすみやかに醫師の診察を要します

◎社會はいかなる職業婦人を求めるか◎

品位のある女性を

遞信省貯金局



採用の條件としては、今年の女學校卒業者を希望してをります學校を卒業して長く經つた人や、前職のあつた人に適する仕事ではありませんから、新卒業生を最初から貯金局向きに仕上げる方針であります。そのためには見習ひ期間を數ケ月おいてをります

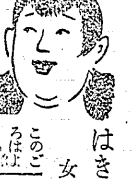
學校の成績のよいのは、頭腦がよくてどんな方面の仕事でも相當にやつてのけられると云ふ證明ですから、條件として可成り重要視いたします

出來るだけ眞面目なしつかりした人である事、性格がよければ容姿などは問題にいたしませんが、ただしこちらは官廳ですから、役所の威嚴とでも云ふものを傷つけない程度の品位のある婦人がのぞましいとおもひます

仕事は、計算事務で、算盤の上手な人は最ものぞむところですが、別に算盤の試驗はやりません。ただ適性檢査とか、鑑別[illegible]學試驗とか、特殊な方法によつて、この人は算盤が上手になる素質を持つてゐるかどうかをしらべる位の事はいたします

はきちがへた明朗

女性美を失はぬやうに



このごろはよく「明朗であれ」といふことをいはれます、これからの婦人はすべてに快活で明朗で自由でなければなりませんが、この「明朗さ」をはきちがへてゐる人も澤山居るやうです

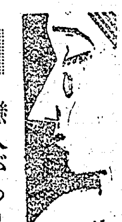
○…愉快にやればよいとばつかり心得ておしやべりをしなくてもよい場所で、自分だけがひとりではしやいでペラペラおしやべりをして、それで明朗だとおもふのはとんだ間ちがひで、明朗はもちろん朗かでなければなりませんが、ことにおたがひが婦人である以上、そこにはやはり日本婦人の持つ昔からのつゝしまやかさ、女性美をもちたいものです

○…就職の場合、よく明朗な婦人をもとむといひますが、試驗場で質問もされないことまで勝手に話すぎたり、ことさらに笑顔ばかり見せて、明朗でもあるかのやうに考へてゐるのは失敗のもとで、明朗といふことは必要には相違ないが、はきちがへないやうにねがひたいとおもひます

（大妻コタカ女史談）

○　○　○

悩める女性へ



問　戀人がありながら愛のない男にゆるして悩む

今年十九歳になりますが、去年の十月田舎より出て職業見習ひのため現在の家に厄介になつて居りますうち、その家の三男で、今年二十五歳になるTと人目を忍ぶ仲となり遂にすべてをゆるしてしまひました人一倍親切な青年ですが私は心からTを愛してゐるわけではありません、勿論結婚の約束などした事もないので、今はたゞ誘惑されたことを恥ぐいる姿でございます

なほ田舎にゐる頃兄妹の様に育つたKといふ二十一歳になる青年がありましたが、十六の時別れたきりで、偶然三月にまた會ひました。妾のなやみをしらない彼は今なほ心から妾を愛してをりますkは立派な心の持主で、清い交際を續けてをります。遂に將來の約束までしてしまひました

妾もkを永久の友としたい決心で居ります、親達もゆるしてくれることは確實ですが、これから二年間今の家にゐたのではTのためどんな事をされるかわかりません、といつて、今の家には親から二年間よろしくたのむといふけい約書がはいつて居ります、妾はkのゐる町へゆきたいのですが、けい約書があつてはそれも出來ないでせうかkも是非妾をつれてゆきたいと申してをりますが、どうするのが一番妥當の爲によいかお教へ下さいまし（悩む女）

答　男女の交際と性愛とを區別してゆけるやう修養を積め

あなたがもしTに對する愛が全くさめてkにゆきたいとするなら、二年間の長期約束はやぶつてすこしも差支ありません、勿論今のTの家にゐる事は間違ひがおこりやすいでせうから、出來るだけはやく出た方がよいでせう、kをしたうてその町にうつゝてゆく事はどちらかと云へば賛成です、むしろ他の場所で、手に職がつくやうな所を見つける事も必要とおもひます

しかしあなたは、すこし親切にせられたからと云つて、ゆるすべからざる線までゆるすといふ、かなり感情の脆い所がありますが、この後もすこし強くなつて、男女の交際と、性欲とを區別してゆけるやう…[illegible]をつむ必要があります。……と、自分にすこし親切な男があれば、次から次へとうつゝてゆく様では、あなたは一生を棒にふつてしまひます

あまい戀だけに陥はないで、若い人生を通じた人間生活を完成する使命のため戀愛を活かしてゆきなさい、子をうみ、子を育て、人類社會を完成するのが戀愛の目的です、そのため、あなたはもうすこし忍耐力を修養する必要があります（家庭部記者）

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）　村瀬春映（畫）

……第一〇四……

平和と戰（四）

そのかはりに、わしを戀人とした方がよつぽど當世向きといふものだ。當世のお孃さんの戀といふものはすべて功利的になつて來たからねえ」

「いやです。いくら仰しやつてもあなたに愛を感じません」

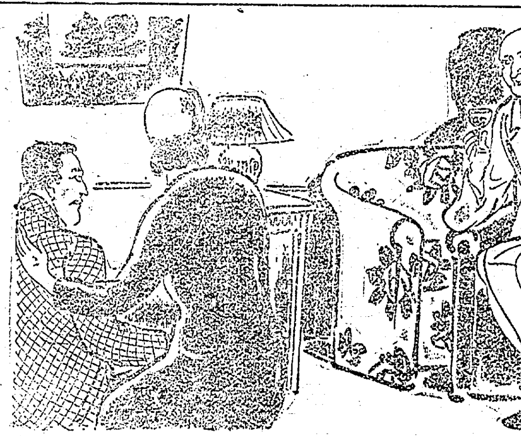
「うむ。では愛とはいはん、相當の價格で、あんたの貞操を買はうどうぢや」

「けがらはしい」

「ほう、けがらはしい、けがらはしいといつたね、なるほど、けがらはしいといふのがありきたりの科白だ。そこを一歩進んで、そろばんづくで受入れるのが當世向きといふものだ」

「もう、何も仰しやらずにください」

エリザは、耳を抑へるやうにして、長椅子の方へ戻つたが、また



ちらを向いて

「栗飯原さんを、どうなさるつもり？」

と訊いた。

「さア、魂のない男を、あんたは持てあますだらうし、わしとて、そんな狂ひ男を雇つて置くわけにはいかぬ」

「すると？」

「路傍へ捨てるまでさ」

ビコルは、吐き出すやうにいふと、エリザは

「では、あたしも路傍へ捨てゝください」

といつた。

「いや、あんたは寶石だ。めつたにころがつてゐるものぢやない。あんたは、わしのものになる。完全に、わしのものとなつて、わしを愛するといふ義務につとめる」

エリザは、栗飯原のそばへ駈けつて

「栗飯原さんと、どんなことがあつても離れません」

と、栗飯原の手を握つたが、彼の手も、感情のない手だつた。

エリザは、それが悲しかつた。

「エリザさん。あんたは、女の力といふものを、過信してゐるね」

「權力に遭つては一文の價値もない女の貞操といふものを、最後まで秘め通せ得るものと信じてゐるね」

「仰しやるまでもないことです」

「うむ、それを、少しは、よろこぶのだアメリカの女性にはもうそんな節に生きるなぞといふものはなくなつたからねえ」

エリザは、栗飯原の手を握つたまゝビコルにいつた。

「あたしも、栗飯原さんと一緒に後生ですから路傍へ捨てゝください」

しかし、ビコルは、首を横に振る。

「いけない。あんたは、わしの寶玉だ」

「いゝえ、あたしは、あなたを去ります」

「しかし、氣のくるつた栗飯原といや、氣ちがひよりもまだ始末にわるい、魂の抜け殻のこの男と一緒に、路傍に捨てられたり、あんたはどうする」

「どうもしやしません。職業を選ぶだけです」

「わしの、ふところを離れると、明日からパンの道を斷たれるのだぜ」

「職業です」

「パンがなければ、人間は死ぬぜ」

「死にます」

エリザは、きつぱりといつてのけた。

「ハヽヽヽ、それぢや論議の餘地なしさ。死ぬために、路傍に捨てられてゆくのなら、こゝだつて死ねるぢやないか」

「こゝで、死んだら、ビコルさんあなたは後悔しませう」

「なアに、あんたの屍體を科學的に處理するさ。つまり、あんたはけむりになるんだよ。氣體になつてこの世から消えて了ふのだよ。わしの迷惑にもならんぢやないかね」

エリザはあをくなつた。

「まア、あなたは、何といふ残忍な……その方法で澤山の人を殺しましたね」

磐城女子洋裁學院

新學期學生募集

卓越せるデザイン教授
ミシン使用無料
材料貸與

新學期開始……四月五日
學則送呈（郵券二錢封入）

平二丁目二番地

新時代の職業
コック見習募集
小學卒業生十六歳ヨリ十八歳迄ノ方優遇ス
御希望の方は至急御申込を乞ふ（可成親權者よりの申込みを歡迎）

レストラン　サロン
平・田町・電三五二

▽生徒募集（學則入要ノ方ハ木校ニ申込マレタシ）
第一學年　壹百名
第二學年　若干名
受驗講座　五十名
新學期　四月五日
出願期日　四月五日
特設受驗講座（各種受驗ノ希望者ノ爲ニ）

磐城青年學校
平町城山

開業
齒科一般
平町田町（安濟醫院向）
齋藤齒科
東京齒科醫學士　齋藤賢三

產婆看護婦　生徒募集
◇願書締切　四月五日
▽詳細ハ問合セ下サイ
石城產婆看護婦學校
平町揺槌小路（元一丁目）
電話357番

胃腸を害ね或は下痢をしたり或は三日も四日も便通がなくて頭痛を覺える御方はキヽメの早い
靈効散　胃腸藥
を御試し下さい
胃腸病、心臓病、腦、痔、適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上ますから御遠慮なく御來局下さい
平町古鍛冶町一〇縣社ノ下
處方箋調劑所　阿康藥局
電話四四番　振替口座東京[illegible]番
定價　五十錢　八日分、壹圓　廿日分
御子様方には飲み易い小兒靈効散があります。

外科
專門　X光線科
上田外科醫院
平町南町　電話一二九番

鈴木醫院
平町田町
電話五八番

國旗と提灯

難波醫院
平町大町新川端
電話五〇二番

吉田眼科醫院
平町紺屋町

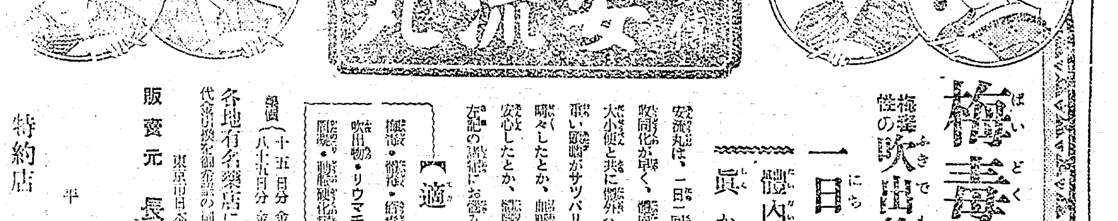
專門
花柳病科
婦人科
產科
▼入院隨意
井坂醫院
平町田町　電話五五九番

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町一六（電話一七〇番）

■入院隨時
內科　小兒科　外科　梅毒淋病
市原醫院
平町田町　電話一二四番
市原卯太郎
市原三三男

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

タイルと壁材料は！
電366
大谷建材店
平町紺屋町



梅毒と體毒
梅毒性の吹出物、高血壓に
一日一回の服用で
體内の毒氣が取れて
眞から丈夫に！

安流丸は、一日一回服用の珍しい家傳藥で、胃腸や内臓に吸收同化が早く、體内の解毒作用につれて、皮膚深く潜む毒素が大小便と共に體外へ排泄されるので、自然と血液が淨化され重い頭腦がサツパリして、不快な吹出物や腫物が出なくなり、晴々したとか、血壓が下つて、體の具合がトテモ良くなり、安心したとか、諸病の苦痛から大變喜ばれてゐる家傳藥です
左記の諸症にお悩みの方は誰方も一度お試しあれ。

【適應症】
梅毒・淋毒・痔毒・横痃・濕疹・腫物・ニキビ
吹出物・リウマチス・眼病・痔瘻・便秘・逆上・血下げ
肩凝・動脈硬化症・高血壓・中風・神經痛に特効あり

定價（十五日分 金二圓　廿二日分 金三圓　四十日分 金五圓　八十五日分 金十圓　七日分 金壹圓　送料各 金十錢）
各地有名藥店にあり　品切の節は直接に御注文を乞ふ
代金引換御希望の向方は、郵券にて二十五錢御添願ひます。

東京市日本橋區本町三丁目七ノ七
販賣元　長壽堂藥房
電話日本橋三四一三番
振替東京五八二二四番

特約店　平町田町　阿部藥舗